



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 4 日

上場会社名 リオン株式会社

（コード番号：6823 東証第 2 部）

（URL <http://www.rion.co.jp/>）

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 井上清恆

問合せ先責任者 役職名 取締役管理統括部長 氏名 清水健一 T E L : (042) 359 - 7834

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上基準、その他影響額が軽微なものにつき、一部簡便的な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	13,547	2.6	560	-	466	-	257	-
16 年 3 月期第 3 四半期	13,204	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	18,020		685		543		355	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	26	07	25	34
16 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	34	62	34	07

(注)売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	24,055	8,985	37.4	908	60
16 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	23,283	8,833	37.9	891	70

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	18,500	500	300

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 30 円 33 銭

*上記の予想は現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

[第 3 四半期連結業績に関する定性的情報等]

1 . 概況

当連結会計年度第 3 四半期の販売概況につきましては、補聴器事業において、8 月に発売となりましたオーダーメイド補聴器の新製品である HI-G1S などの S シリーズ、および HI-G1E などの E シリーズが、お客様より引き続き高い評価を頂いております。また 11 月には、これまでアナログ補聴器をご利用のお客様にもリーズナブルな価格でお試し頂ける耳かけ形デジタル補聴器 HB-D7C など発売し、大変好評を博しております。当第 4 四半期には、耳の日に向けてさらなる新製品の投入も計画しており、お客様のニーズにきめ細かくお応えできるデジタル補聴器のラインナップが整ってまいりました。

医用検査機器事業につきましては、病院の経営状態が好転しない状況の中、新規設備に対する投資意欲は好転する様子が見られず、引き続き厳しい環境にあります。当年度予定していた厚生労働省が推進する電子カルテ用システムにつきましても、当社製品の主な納入先である耳鼻科医院で導入が遅れている状況となっております。

音響・振動計測器事業につきましては、騒音計、振動計を中心に引き続き好調な売上を維持することができました。特に騒音計では、コンサルタント会社による騒音測定ニーズが増加したことなどから、レンタル業界への売上が増加いたしました。海外市場におきましても、韓国、中国を中心に売上を伸ばすことができました。

微粒子計測器事業につきましては、国内市場において、前年度から活況を呈している半導体業界からの活発な受注が続いておりますが、大型案件が減少傾向にあることから、シリコンサイクルによる需要のピークは過ぎたものと判断しております。しかしながら、個々の製品では当社が得意とするハードディスク関連、薬液関連、液晶関連の業界からの受注が大幅な売上の増加に繋がっており、韓国、台湾、中国のほか、米国などでも液中微粒子計を中心に好調な売れ行きを示しております。

2 . 経営成績

当連結会計年度第 3 四半期までの売上高は 135 億 4,780 万円と前年同四半期の 132 億 434 万円に比べまして 3 億 4,345 万円 (2.6%) 増加いたしました。売上原価につきましては、補聴器の材料費が増加したものの、音響・振動計測器において原価低減設計を取り入れた新製品への切替えが進んだことから、売上原価率は 0.5% 低下いたしました。その一方で、販売費及び一般管理費につきましては、ブランド力を強化するための費用が発生したことなどにより、前年同四半期に比べて 1 億 2,422 万円増加いたしました。この結果、営業利益は 5 億 6,042 万円、経常利益は 4 億 6,658 万円、当期純利益では 2 億 5,787 万円となりました。

3 . 財政状態

当連結会計年度第3四半期における資産の部につきましては、年度末の受注増に対応するため、棚卸資産が前連結会計年度末に比べて2億5,438万円増加し、手形債権流動化実行に伴う未収入金の増加分と法人税等中間納付金などを含めまして、その他の資産が2億4,493万円増加いたしました。その結果、資産合計で240億5,572万円となり、前連結会計年度末に比べて7億7,213万円増加いたしました。また負債の部につきましては、税金等の支払により未払費用の減少があったものの社債の発行等により、前連結会計年度末に比べて6億2,028万円増加し、150億7,028万円となりました。資本の部につきましては、当期末処分利益が増加した結果、資本合計が前連結会計年度末に比べて1億5,184万円増加し、89億8,543万円となりました。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区 分	当第3四半期 (平成16年12月31日)	【参考】前連結会計年度 (平成16年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
(資産の部)		
流動資産		
1 現金及び預金	1,891,846	1,613,382
2 受取手形及び売掛金	4,605,556	4,760,925
3 たな卸資産	3,860,682	3,606,300
4 その他	1,162,071	917,137
貸倒引当金	12,189	12,024
流動資産合計	11,507,967	10,885,721
固定資産		
1 有形固定資産	10,456,090	10,190,970
2 無形固定資産	345,785	393,910
3 投資その他の資産	1,747,112	1,814,223
貸倒引当金	1,233	1,232
固定資産合計	12,547,755	12,397,870
資産合計	24,055,722	23,283,592
(負債の部)		
流動負債		
1 支払手形及び買掛金	1,397,054	1,410,551
2 一年以内償還予定社債	200,000	100,000
3 短期借入金	2,786,363	1,805,710
4 その他	1,051,583	1,361,067
流動負債合計	5,435,001	4,677,328
固定負債		
1 社債	700,000	350,000
2 長期借入金	4,378,500	5,028,128
3 その他	4,556,784	4,394,549
固定負債合計	9,635,284	9,772,677
負債合計	15,070,286	14,450,005
(少数株主持分)		
少数株主持分		
(資本の部)		
資本金	1,194,400	1,194,400
資本剰余金	1,618,490	1,618,490
利益剰余金	3,056,626	2,912,078
土地再評価差額金	3,036,599	3,036,599
その他有価証券評価差額金	85,493	76,820
為替換算調整勘定	533	783
自己株式	5,640	4,019
資本合計	8,985,436	8,833,586
負債、少数株主持分及び資本合計	24,055,722	23,283,592

2.(要約)四半期連結損益計算書

区 分	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	【参考】前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
売上高	13,547,804	18,020,505
売上原価	7,691,409	10,382,479
売上総利益	5,856,394	7,638,026
販売費及び一般管理費	5,295,970	6,952,889
営業利益	560,423	685,136
営業外収益		
1 受取利息及び受取配当金	17,540	22,008
2 その他	91,020	170,819
営業外費用		
1 支払利息	93,683	159,425
2 その他	108,718	175,470
経常利益	466,581	543,068
特別利益	2,143	7,193
特別損失	6,461	39,094
税金等調整前四半期(当期)純利益	462,263	511,167
税金費用	204,391	156,122
四半期(当期)純利益	257,872	355,045